



梅田中学校だより19

令和3年2月12日

校長 森井 康匡

梅の香り

春間近、菜の花が咲き出しました

先日春一番が吹いたと思ったら、やはり暖かい日が増えてきました。三寒四温と言ったところでしょうか。玄関先の菜の花が咲き出しました。いよいよ春がやって来ると思うと心なしかワクワクしてきます。以前に雪の多い地域の子どもが、春の訪れを心待ちにしているという話を聞いたことがあります。今年は特に雪深い地域に住んでいる方々は、春の訪れを心待ちにしているのだらうと思いを馳せてしまいます。そして、春の訪れにつられて、コロナも収束に向かってくれることを心より願う今日この頃です。

生徒たちはこの1年間を、我慢に我慢を重ね耐え忍びながら一生懸命過ごしてきました。そんな中でも、生徒たちは日々を明るく元気に過ごしてくれて、とてもありがたかったです。私たち大人の方が元気をもらって過ごした1年間だったように思います。緊急事態宣言が延長されましたが、コロナが落ち着いた状況で、つらい1年間を過ごすことになってしまった3年生を無事に送り出したいと願っています。



学校評価アンケートの集計結果について

中学校では学校評価アンケートの集計結果を分析し、本校の課題を来年度の学校運営の改善につなげていきたいと考えています。紙面上、すべての内容を載せることはできませんので、一部を紹介いたします。

1 「あなたにとって学校は、安全・安心な居場所になっていますか？」

約16%の生徒が、あまりなっていない、またはなっていないと回答していることについては、アンケートなどを実施し、生徒の不安なところについて把握し対応していきたい。

2 「先生方は、あなたのことを理解していますか、または、理解しようとしてくれますか？」

否定的な回答は約18%であり、担任または学年として真摯に受け止めなければならない。子どもたちとしっかり向き合い、信頼を獲得していかなければならない。そのために、生徒1人に教師1人だけが関わるだけでなく、チームとして情報を共有し、たくさんの大人が関われる体制を作っていきたい。

3 「先生方は、いじめ防止や、いじめがあったときの対応に真剣に取り組んでいますか？」

学年差はあるが2割近くが否定的な回答であった。子どもを守る責任を更に自覚するとともに、教師のいじめ認知の精度を上げるとともに、生徒からの情報に対してもチームとしての判断と対応、さらには外部機関との連携を行い、適切に取り組んでいきたい。

*結果を真摯に受け止め、私たち教師の思いが、生徒に伝わるよう今後も努力してまいります。

今後の取り組みに、ご理解とご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。なお、裏面には、アンケートの集計結果を載せておりますのでご覧ください。